

事業所名

放課後等デイサービスきららドリーム沢良木

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

30日

| | | | | |
|-----------|--|--|--|-------|
| 法人（事業所）理念 | | 一般社団法人ハルノドリーム福祉会 楽しく安心して過ごせる「居場所づくり」 | | |
| 支援方針 | | 身体を開き、心も開くをテーマに、お友達と楽しい経験を積み重ねていき、他者と関わる楽しさを知り、ライフスキルを高めていく。自分で選択し、自分で決定し、自分で実行していき、失敗も成功も含めて自己決定、自己実現していく。 | | |
| 営業時間 | | 平日 14時00分から18時00分 日祝 9時00分から15時00分 長期休暇 10時00分から16時00分 | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 定期的に心身状況を把握し、手洗い・食事・排泄・着脱などの健康的な生活習慣を形成。楽しく食事ができるように咀嚼・姿勢保持・手指の運動機能等に応じた支援を行っている。自分の感情の把握や感情コントロールの訓練を行い、心の健康も支援している。スケジュール等で見通しをもてる環境を整え、時間を意識した規則正しい生活を促していく。 | | |
| | 運動・感覚 | 作業療法士の指導に基づき、外活動やバランスボードやトランポリン、ステッパー、バランスボール、ダンス、筋力トレーニングなどを通して姿勢保持の機能向上、上肢・下肢の協調的な運動・基本的動作の改善、習得・筋力持久力の維持・強化を図っている。また姿勢制御や身体の使い方、ボディイメージの形成を土台として粗大運動（全身を使った動き）から微細運動（手指の巧緻動作）へ段階的につながられるよう、一人一人の発達段階に応じた細やかな支援を行っている。感覚統合の視点を取り入れ、前庭覚、固有受容覚、触覚などの保有している感覚機能を日常生活や遊びの中で有効に活用できるよう、遊びや個別課題、設定活動を通して日々の活動を行っている。 | | |
| | 認知・行動 | 公園や散歩などを通して、危険を察知できる、回避できるように支援している。絵カードやスケジュールを使用し、見通しをもつ、予定の変更に対応できるなど予測理解や急な変化対応も活動を通して取り組む。 | | |
| | 言語コミュニケーション | 絵カードやボードに書く、マカトンサイン、言葉で伝えられるなど様々な方法で、思いを伝えられる経験を重ねる。言語聴覚士の指導のもと、活動や遊びの中で、伝える気持ちを育て、発声方法やコミュニケーション能力の向上につなげる。 | | |
| | 人間関係社会性 | 安心して過ごせるように、環境に対する安心感、人に対する安心感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。感覚機能や運動機能を使った遊びを通して、社会性の発達を支援する。職員を介して、自分のできることや苦手な事に取り組み、気持ちや情動の調整ができるようにしていく。個別から小集団への参加を行うための手順やルールを理解し、相互理解や仲間づくりにつなげていく。 | | |
| 家族支援 | 家族の就労やその他の活動を支えるために、安心して子どもを預けられる支援体制をつくる。ご家族の要望に基づき、適切なタイミングで相談援助を行い、持続的な成長の促進をはかる。 | 移行支援 | 仲間との協力やコミュニケーションを通じて今後必要な協調性や社会性を育み身につけていく。卒業後につながるように、ニーズに基づいた一貫性のある支援を提供し、自立に向けたスキルを向上させていく。 | |
| 地域支援・地域連携 | 関係機関との情報共有を行い、子どもが自己肯定感を高め安心して生活ができるようにする。 | 職員の質の向上 | 年間研修計画にそい、支援スキルの向上や安全対策等、月に1回以上は外部、内部研修や訓練を実施している。 | |
| 主な行事等 | 四季を大切に、ハイキングやお花見や夏祭り、お雛様、クリスマス、ハロウィーン、工場見学等。20歳の卒業した児童を中心にした20歳の集いの実施。 | | | |